

5-9 東海地方東部地域におけるテレメータによる水位観測結果 (1989年) (8)

Variation of the Groundwater Level Observed by Telemetering System in the Eastern Tokai District, Central Japan (1989) (8)

地質調査所
Geological Survey of Japan

前報（地質調査所，1989）に引続き，1989年分の東海地方東部におけるテレメータによる地下水位観測結果を報告する。

観測井は第1図に示すように，前年と同様，清水，榛原及び浜岡の三地点に置かれている。観測データは2分毎に収集・処理されているが，本報では上記3観測井における1989年1年間の1時間平均値を榛原観測井で観測された気圧・降水量と共に第2図に示す。

以下に観測結果の概要を述べる。

1) 清水観測井

例年の通り，2・3月に極小，7・8月に極大を示す年周変化が現れているようであり，他には降水の影響と見られる水位上昇が現れているのみである。本年末は10，11月の降水が昨年より多かったため，昨年末ほどには水位は低下しなかった。

2) 榛原観測井

本井では，水位の年周変化が清水観測井のように顕著に現れず，気圧変化の影響を顕著に示す。第2図には気圧補正を加える前の観測値(observed)と，補正を加えた値(corrected)の両者を示した。補正後の年間変動は10cm前後にとどまっている。

3) 浜岡観測井

本井の水位変化は，清水観測井とほぼ同じ位相の年周変化を示す。気圧変化の影響も現れているが，榛原観測井ほど顕著ではない。気圧補正後の年間変動はほぼ30cm程度である。

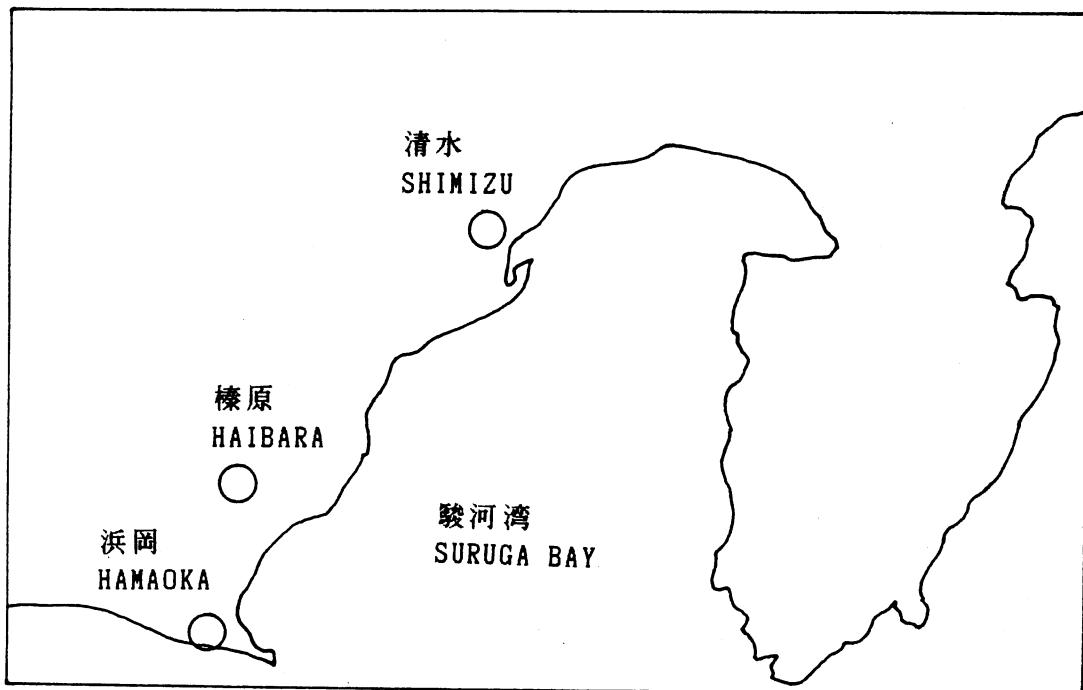
4) 地震と関連する水位変動

第3図に示すように1989年10月14日伊豆大島近海の地震後，榛原観測井において気圧，潮汐，降水補正後，約2cmの水位低下が認められた。
(高橋 誠，松本則夫，安藤直行)

参考文献

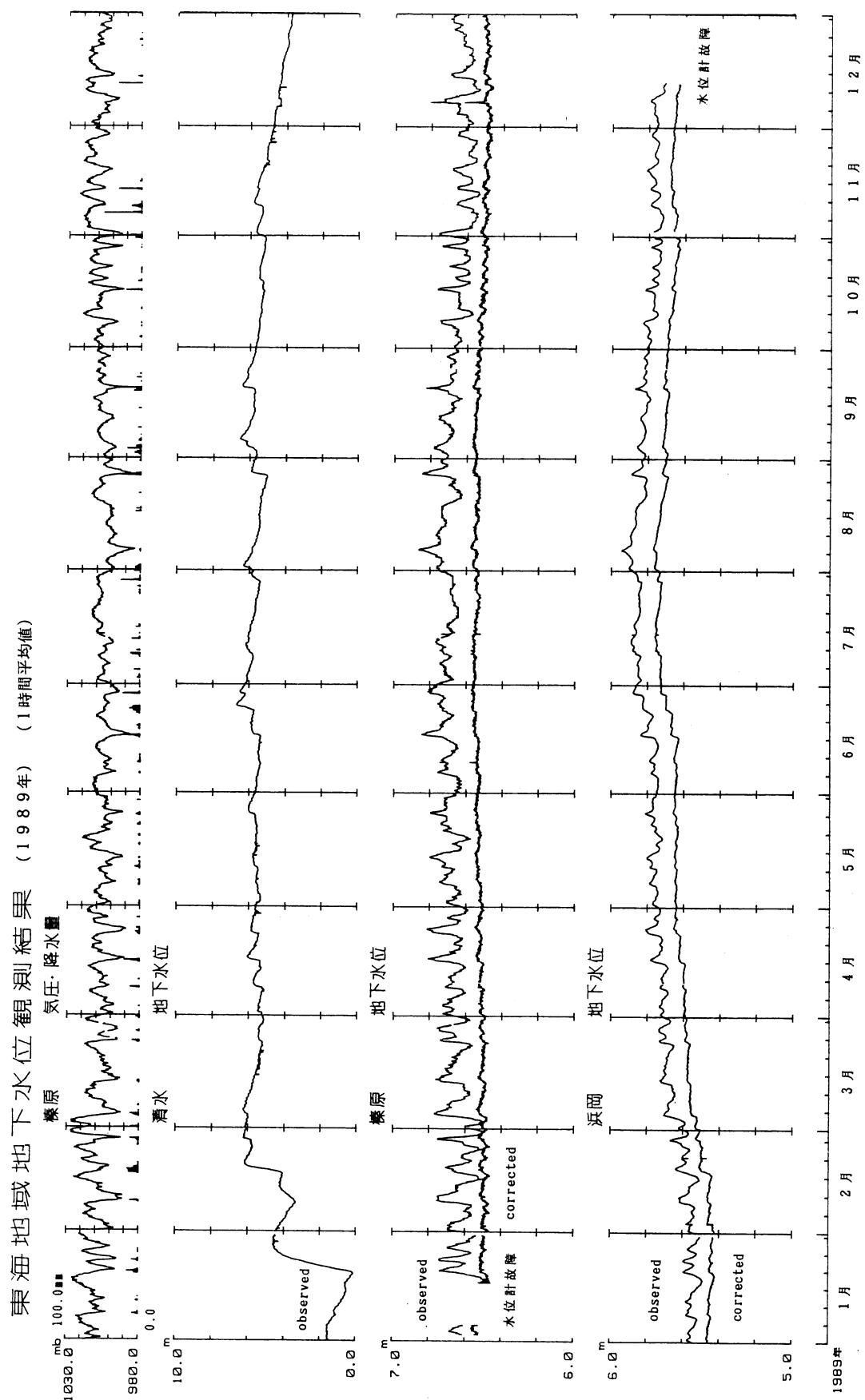
- 1) 地質調査所：東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果（1978～1982年）
(1), 連絡会報, 30 (1983), 263-270.
- 2) 地質調査所：東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果（1983年）(2),
連絡会報, 32 (1984), 266-269.
- 3) 地質調査所：東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果（1984年）(3),
連絡会報, 34 (1985), 317-320.

- 4) 地質調査所：東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果（1985年）(4), 連絡会報, 36 (1986), 292-295.
- 5) 地質調査所：東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果（1986年）(5), 連絡会報, 38 (1987), 384-387.
- 6) 地質調査所：東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果（1987年）(6), 連絡会報, 40 (1988), 310-313.
- 7) 地質調査所：東海地方東部地域におけるテレメータによる地下水位観測結果（1988年）(7), 連絡会報, 42 (1989), 296-298.
- 8) 地質調査所：第86回地震予知連絡会資料（1989年2月20日）.
- 9) 地質調査所：第87回地震予知連絡会資料（1989年5月22日）.
- 10) 地質調査所：第88回地震予知連絡会資料（1989年8月7日）.
- 11) 地質調査所：第89回地震予知連絡会資料（1989年11月20日）.
- 12) 地質調査所：第90回地震予知連絡会資料（1990年2月19日）.



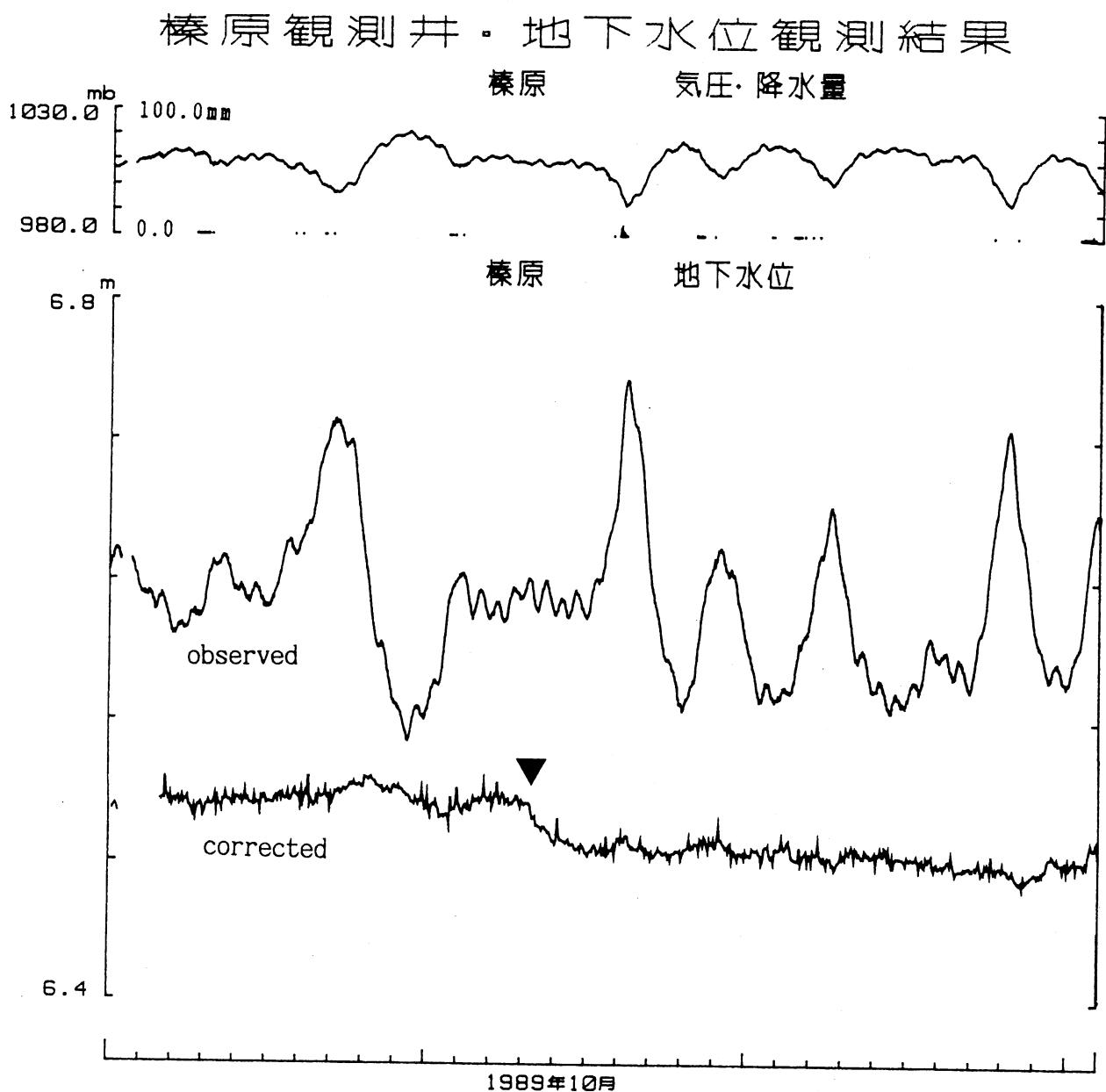
第1図 東海地方東部地域地下水位観測井位置

Fig. 1 Locality of the observation sites.



第2図 東海地域地下水位観測結果 (1989年) (1時間平均値)

Fig. 2 Variation of the groundwater level at three observation sites in 1989.



第3図 榛原観測井・地下水位観測結果

(1989年10月)

▼：伊豆大島近海地震 (M5.7)

Fig. 3 Variation of the groundwater level at Haibara observation sites on October 1989.
▼: Earthquake of Near Izu-oshima Island (M5.7)